

# 「KROSS×OVERアマチュア大会 -NEXTネクスト-」ルール対比表(小中学生MMA)【心技館 JOF総合 A ルール】

項目	【心技館 JOF総合 A ルール】(ジュニア)	
	ワンマッチ	
階級	中学生以下(クラスA,B) ※男女混合 -25kg・-30kg・-35kg・-40kg・-45kg・-50kg・-55kg・-60kg ※他契約体重での対戦も有る	
試合時間	3分1R	
防具	ヘッドギア	主催者/フェイスガード付きヘッドギア
	レガース	選手用意/スネサポーター(マジックテープタイプ不可)
	ニーパッド	選手用意
	グローブ	選手用意/拳サポーター(オープンフィンガーグローブ可)
	・ファールカップ(男子のみ) ■試合コスチューム 短パン・ハーフパンツ・スパッツいずれも可。 上半身は男女関係なく・Tシャツ・ラッシュイージーの着用を義務づける。 試合進行妨げる衣服や、金具付きなど怪我の恐れがあるものは不可とする。レスリングシューズは着用不可とする	
勝敗	勝敗の種類	■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する ●打撃によるKO勝ち ●ポイントによる優勢勝ち ●反則3回、およびレフリーが悪質と判断した場合による反則負け ●旗判定による判定勝ち ●レフリーが危険と判断した場合によるレフリーストップ ●レフリーが続行不可と判断した場合によるレフリーストップ
	判定基準	・レフリー1名、サブレフリー2名による計3名の旗判定とする ●判定基準はアグレッシブ>ダメージ>ポジショニングとする ※反則があった場合、考慮した上での旗判定とする ※判定による選手や第三者の抗議は一切認めません ※特例でレフリー1名による判定もあります
	打撃、サブミッション、ポジショニングによるポイント基準	■打撃 ●技がクリーンヒットしダメージが顕著に出た場合はKOとします ●技がクリーンヒットしダメージがある、または考えられる場合2ポイントとします ●ハイキックをクリーンヒットさせた場合、1ポイントとします ●打撃により、相手を一方的に後退させた場合、1ポイントとします ●ボディ攻撃やローキックによりダメージが認められた場合、1ポイントとする ■サブミッション ●サブミッションによるタップアウト、またはレフリーストップで一本勝ちとします ●絞技(チョーク系、三角絞)において、技が成立している体勢になった場合、1ポイントとします ●関節技において、クラッチが切れた際に技が成立する体勢になった場合、1ポイントとします ■ポジショニング ・ガード、ハーフガード、サイド、トップ、マウント、バック(シングルフック可)いずれかのポジションを3秒以上キープすると1ポイント、テイクダウンからは+1ポイントとする
	注意・減点	軽微な反則は口頭注意から行なわれ、改善が認められない場合は注意(-2ポイント)、更に反則をした場合は警告(-3ポイント)、更に反則をした場合は失格となります
反則技	【主な反則】 ●足の甲、足首スネ以外による全ての頭部への打撃 ●膝、肘、かかとによるあらゆる打撃、および指先、足先への打撃行為 ●脊髄、背骨へのあらゆる打撃行為 ●一方がグラウンドポジションでの両者のあらゆる打撃 ●グラウンドから立ち上がる瞬間の両者のあらゆる打撃 ●スタンド体勢でのバックチョーク以外の全ての関節、絞め技 ●前腕またはスネを押しつけて圧迫する絞め技 ●手首、脊髄への関節技 ●後頭部を強く引き、頸椎を圧迫させる絞め技 ●バスター、スパイクの禁止、又は投げの際に頭部から落とす行為 ●体を溶びせての大外刈りで相手を投げる行為 ●スタンドから飛びついてガードポジションをとる行為 ●相手の指、関節道具、衣類をつかむ行為 ●金的、目への攻撃、又は指による付き攻撃、又は道徳上許されない行為 ●カニばさみ、かわず掛け、さば折り等の怪我を誘発する投げ技 ●足に足を巻きつけて投げる行為(スタンドでのツイスターフックの禁止) ●故意にリング、及びマットの外に出る行為 ●整髪量、ワセリン、体にオイルを塗付する行為 ●レフリーへの抗議、罵倒、暴力行為、又は指示に従わない行為 ●悪質、また競技に著しく支障をきたす反則についてはレフリー判断で反則負けとなる ※その他、反則細事はレフリーの判断とする	